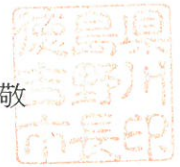




04吉総第33号
令和4年4月19日

吉野川市監査委員 川真田 大 作 様
吉野川市監査委員 山 添 純 二 様

吉野川市長 原 井 敬



令和3年度財政的援助団体等監査の結果に係る
指摘事項に対して講じた措置について（通知）

令和4年3月24日付け吉監査第159号で提出のありました件について、地方自治法第199条第14項の規定により別紙のとおり通知します。

令和3年度財政的援助団体等監査結果に係る指摘事項に対して講じた措置について

部署等名	指摘事項	措置の内容
子育て支援課	<p>ア 地方自治法では「各会計年度の歳出には、その年度の歳入を充てなければならない。」旨を定めているが、高越学童あおぞら・おひさまクラブの令和2年度事業において生じた財源不足について、翌年度の補助金の一部を充てるように指導していた。</p>	<p>令和3年度で運営費不足を解消し、令和4年度からは適正化を図るよう指導しました。また、今後は、事業に対する理解を深め、財源不足が生じることがないように、適正な経費の執行管理を行うことについて指導します。</p>
	<p>イ 吉野川市財務規則では「貸付財産について、普通財産貸付台帳を作製し実態を明らかにしておかなければならない。」旨を定めているが、知恵島児童クラブさくら・すみれに貸し付けている旧知恵島幼稚園の建物について、普通財産貸付台帳を作製していなかった。</p>	<p>普通財産の貸付を行っている全ての放課後児童クラブについて普通財産貸付台帳を作製しました。</p>
	<p>ウ 吉野川市財務規則では「借受人から貸付財産の原形変更承認申出があったときは、その変更が貸付財産の効用を減少させることとならないか調査しなければならない。」旨を定めているが、知恵島児童クラブさくら・すみれから申出のあった旧知恵島幼稚園建物の原形変更承認について、計画書等を提出させず、必要な調査を行っていなかった。</p>	<p>放課後児童クラブに対し、貸付財産の原形変更を行うときは計画書等を提出するよう指導しました。また、原形変更承認の際には必要な調査を行うことを徹底します。</p>
生涯学習課	<p>ア 市民プラザや多目的グラウンドは市の緊急避難場所や避難所として指定されているが、指定管理者に災害対応マニュアルを作成させおらず、災害時備蓄品の配備状況も把握していなかった。</p>	<p>指定管理者に対し、仕様書に基づいた災害対応マニュアルの作成を指示し、作成されたマニュアルの提出を受けました。また、災害時における初動対応等の協力体制について確認しました。</p>

	<p>イ 地方自治法施行令では「私人に公金の徴収等を委託することができる場合」や「私人に公金の徴収等を委託したときは、告示や公表をしなければならない。」旨を定めているが、市民プラザや多目的グラウンドに係る使用料の指定管理者への徴収等委託について、必要な事務手続を行っていなかった。</p>	<p>指定管理者と使用料の徴収等に係る委託契約を締結し、地方自治法施行令の規定に基づく告示を行いました。</p>
	<p>ウ 剰余金が生じた場合には、発生事由ごとに整理して、翌年度への繰越金と指定管理者の利益とに区分する必要があるが、令和2年度末における市民プラザと多目的グラウンドの剰余金11,602,554円について、必要な整理や区分を行わず、その全額を利益として処理していることに対し、聴き取りや指導等のとるべき措置を行っていなかった。</p>	<p>指定管理者から関係書類、帳簿等を提出させ、剰余金について内容を確認しました。今後は、指定管理業務に係る年度当初計画及び4半期毎の報告について点検、確認等を行います。</p>
	<p>エ 市民プラザ・多目的グラウンド指定管理者基本協定書では「応募書類である収支計画書の内容変更にあたって、指定管理者に書類を提出させて承認しなければならない。」旨を定めているが、収支計画書の内容変更について、書類を提出させず、必要な承認手続を行っていなかった。</p>	<p>指定管理者から収支計画書の内容変更についての書類を提出させ、内容を確認したうえ、承認手続を行いました。</p>
<p>吉野川賑わい創出パートナーズ（生涯学習課）</p>	<p>市民プラザ・多目的グラウンド指定管理者基本協定書では「応募書類である収支計画書の内容変更にあたって、市に書類を提出して承認を受けなければならない。」旨を定めているが、ア</p>	<p>今後は、基本協定書にある収支計画書を提出する等、適正な手続を執り、内容変更等がある場合には予め市と協議した後、承認を受けるよう業務を遂行してまいります。</p>

リーナ・多目的グラウンド運営
業務に係る本社管理費の支出金
額について、市に内容変更の書
類を提出して承認を受けること
なく、4,000,000円か
ら8,155,000円へと倍
増させていた。